

試 験 問 題

〔数学・世界史・日本史〕

どれか 1 科目を選択

(解答時間 40 分)

1 受験心得

- (1) 指示があるまで問題を開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問には一切回答しません。
- (3) 計算等は問題用紙の余白を利用してください。
- (4) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (5) 計算機等の使用は認めません。
- (6) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしておいてください。
- (7) 試験終了後に試験問題はすべて回収しますので持ち帰らないようにしてください。

2 マークシート記入上の注意事項

☆ 解答用紙の注意事項をよく読んで次の要領で記入してください。

- (1) 記入は必ずHB以上の濃さの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- (2) 「氏名」欄はフルネームを記入し、カタカナでふりがなを記入してください。
- (3) 「地本コード」欄は受験番号の県名等と対応するマーク欄を塗りつぶしてください。
- (4) 「受験番号」欄は上部に4桁の受験番号を記入し、対応するマーク欄を塗りつぶしてください。
「区分」、「記号」は該当するマーク欄を塗りつぶしてください。
- (5) 「学問分野選択区分」欄は「文系」のマーク欄を塗りつぶしてください。
- (6) 「試験科目選択区分」欄は「数学」「世界史」「日本史」から1科目を選択し、対応するマーク欄を塗りつぶしてください。
- (7) 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。

氏 名	
--------	--

防衛省

[数 学]

第1問題 次の(1)～(5)の各問いに答えなさい。

(1) $x = \frac{1-\sqrt{5}}{2}$ のとき、 $x^3 - 2x^2 + 4x + 1$ を計算した値として、正しいものは次のうちどれか。

1. $2 - 2\sqrt{5}$
2. $2 - \sqrt{5}$
3. $2 + 2\sqrt{5}$
4. $2 + \sqrt{5}$
5. $2\sqrt{5}$

(2) 3点 $(-1, -2)$ 、 $(1, 4)$ 、 $(7, -2)$ を通る2次関数の最大値を M 、そのときの x の値を k とすると、 $M+k$ の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. 7
2. $\frac{15}{2}$
3. 8
4. $\frac{17}{2}$
5. 9

(3) a を実数の定数とすると、方程式 $|2x^2 - 3x| = x + a$ が異なる4個の実数解をもつような定数 a の値の範囲として、正しいものは次のうちどれか。

1. $-\frac{3}{2} < a < \frac{1}{2}$
2. $-1 < a < \frac{1}{2}$
3. $0 < a < \frac{1}{2}$
4. $0 < a < \frac{3}{2}$
5. $-\frac{3}{2} < a < \frac{3}{2}$

(4) 正四面体に外接する球の半径を R 、内接する球の半径を r とするとき、 $\frac{R}{r}$ の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. $\sqrt{3}$

2. $\sqrt{6}$

3. $\frac{\sqrt{3}}{2}$

4. $\frac{\sqrt{6}}{2}$

5. 3

(5) 2つの変数 x 、 y のデータが、 n 個の値の組として、 (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 \dots (x_n, y_n) のように与えられており、2つの変数 x 、 y の相関係数が 0.4 であった。

変数 x 、 y に対し、新たな変数 $u=4x+3$ 、 $v=-y+5$ を定めるとき、新たな変数 u 、 v の相関係数の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. 0.4

2. -0.4

3. 0.8

4. -0.8

5. 0.6

第2問題 下の点線の枠の中のように、上段には、最初の自然数1に11を次々と加えていった自然数の値が並べられている。また、下段には、最初の自然数2に17を次々と加えていった自然数の値が並べられている。

上段	1	12	23	34...
下段	2	19	36	53...

上段の自然数と下段の自然数を書き並べていくと、上段と下段には同じ値の自然数が含まれていることがわかる。このとき、次の(6)～(9)の各問いに答えなさい。

(6) 上段の自然数と下段の自然数の中で、値が一致するものの最小値の場所として、正しいものは次のうちどれか。

1. 上段の左から10番目の自然数である。
2. 上段の左から11番目の自然数である。
3. 上段の左から13番目の自然数である。
4. 上段の左から15番目の自然数である。
5. 上段の左から17番目の自然数である。

(7) 上段と下段で一致する自然数だけを取り出して左側から小さい順に並べたとき、上段と下段で一致する自然数の左側から10番目の値について、正しいものは次のうちどれか。

1. 最初に書き並べた下段の自然数の左から109番目の値に等しい。
2. 最初に書き並べた下段の自然数の左から110番目の値に等しい。
3. 最初に書き並べた下段の自然数の左から117番目の値に等しい。
4. 最初に書き並べた下段の自然数の左から119番目の値に等しい。
5. 最初に書き並べた下段の自然数の左から184番目の値に等しい。

(8) 上段と下段で一致する自然数だけを取り出して左側から小さい順に並べ、上段と下段で一致する自然数の左側から n 番目の値が最初に書き並べた下段の自然数の左から何番目になるのかを n の式で表したとき、 $an+b$ 番目となった。このとき $a+b$ の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. 7
2. 8
3. 9
4. 10
5. 11

(9) 上段と下段で一致する自然数だけを取り出して左側から小さい順に並べたとき、最初に書き並べた自然数の上段の k 番目と下段の l 番目の自然数の値が一致するとき、互いに素である自然数 p 、 q 、 r に対して $pk=ql-r$ の関係式が成立する。 $p+q+r$ の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. 30
2. 31
3. 32
4. 33
5. 34

第3問題 a を定数とし、 $f(x)=x^2-x+a$ 、 $g(x)=-x^2+7x-9$ とするとき、次の (10) ~ (14) の各問いに答えなさい。

(10) $1 \leq x \leq 4$ の範囲における2次関数 $y=g(x)$ の最大値を M 、最小値を m とするとき、 $M-m$ の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. $\frac{1}{4}$

2. $\frac{13}{4}$

3. $\frac{25}{4}$

4. $\frac{13}{2}$

5. $\frac{27}{4}$

(11) すべての実数 x について $f(x) \geq g(x)$ が成立するような定数 a の値の条件として、正しいものは次のうちどれか。

1. $-1 \leq a$

2. $a \leq -1$

3. $\frac{1}{2} \leq a$

4. $a \leq \frac{1}{2}$

5. $-\frac{1}{2} \leq a$

(12) どのような実数 p, q に対しても $f(p) \geq g(q)$ が成立するような定数 a の値の条件として、正しいものは次のうちどれか。

1. $\frac{13}{4} \leq a$

2. $\frac{7}{2} \leq a$

3. $\frac{15}{4} \leq a$

4. $4 \leq a$

5. $\frac{17}{4} \leq a$

(13) 2 方程式 $f(x) = g(x)$ が異なる 2 つの実数解をもち、その差が 2 以下となるような定数 a の値の条件として、正しいものは次のうちどれか。

1. $-3 \leq a < -1$

2. $-3 \leq a \leq -1$

3. $-3 \leq a < 1$

4. $-2 \leq a < -1$

5. $-2 \leq a \leq 1$

(14) 2 次関数 $y = f(x)$ と 2 次関数 $y = g(x)$ のグラフが異なる 2 点 A, B で交わっているとき、直線 AB の y 切片が $-\frac{29}{4}$ となるような定数 a の値として、正しいものは次のうちどれか。

1. -5

2. $-\frac{11}{2}$

3. $-\frac{23}{4}$

4. -6

5. $-\frac{25}{4}$

[世界史]

第1問題 14世紀までの世界について、(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 古代文明に関する組合せとして、妥当でないものは次のうちどれか。

- | | | |
|-------------|---|---------------------|
| 1. エジプト文明 | — | ピラミッド・神聖文字 |
| 2. メソポタミア文明 | — | ハンムラビ法典・楔形文字 |
| 3. インダス文明 | — | モヘンジョ＝ダール遺跡・ハラッパー遺跡 |
| 4. 中国文明 | — | 殷墟・甲骨文字 |
| 5. マヤ文明 | — | アジャンター石窟寺院・十進法 |

(2) 古代ローマに関する次の表中の空欄A～Dに当てはまる語句の組合せとして、妥当なものは次のうちどれか。

前6世紀末頃	都市国家ローマが貴族による共和政を開始
前5～3世紀	身分闘争によって平民の権利拡大, イタリア半島の統一
前264～146年	3回の <input type="text" value="A"/> 戦争でカルタゴを滅ぼし、西地中海に覇権を確立
前60～53年	第1回三頭政治
前46～44年	<input type="text" value="B"/> の独裁
前43年	第2回三頭政治
前27年	オクタウィアヌスが <input type="text" value="C"/> の称号を贈られ、プリンキパトゥス(元首政)を始める
96～180年	五賢帝時代→ローマ帝国の最盛期
313年	<input type="text" value="D"/> 帝がミラノ勅令を発してキリスト教を公認。
395年	西ローマ帝国と東ローマ帝国とに分裂

- | A | B | C | D |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. ペルシア | オクタウィアヌス | プリンキパトゥス | テオドシウス |
| 2. ペルシア | ポンペイウス | アウグストゥス | テオドシウス |
| 3. ポエニ | カエサル | プリンキパトゥス | コンスタンティヌス |
| 4. ポエニ | カエサル | アウグストゥス | コンスタンティヌス |
| 5. 同盟市 | ポンペイウス | アウグストゥス | アウグスティヌス |

(3) 次のア～カの記述を、隋王朝に関するものと唐王朝に関するものに正しく分類しているものとして、妥当なものは次のうちどれか。

- ア：玄宗治世の前半では律令体制の立て直しが行われたが、安史の乱後は弱体化した。
- イ：推薦制の九品官人法に代え、学科試験によって官吏を登用する科挙を導入した。
- ウ：華北と江南を結ぶ交通・輸送の幹線として大運河を建設した。
- エ：王維、李白、杜甫、白居易らの詩人が活躍した。
- オ：黄巢の乱によって衰退が決定的となり、節度使の朱全忠に滅ぼされた。
- カ：相次ぐ外征に不満が募り、高句麗遠征の失敗を機に全土で反乱が起こり滅亡した。

隋	唐
1. ア・イ	ウ・エ・オ・カ
2. イ・ウ・オ	ア・エ・カ
3. イ・ウ・カ	ア・エ・オ
4. ウ・エ・オ・カ	ア・イ
5. ウ・カ	ア・イ・エ・オ

(4) ヨーロッパ世界の形成に関するア～ウの文章の正誤の組合せとして、妥当なものは次のうちどれか。

- ア：ゲルマン人国家のフランク王国は、ローマ教会と結びつくことで発展した。8世紀に最盛期を築いたカール＝マルテルは、教皇ヨハネス12世にローマ皇帝の帝冠を授けられ、ローマ・キリスト教・ゲルマンが融合した西欧世界が成立した。
- イ：ローマ教会は西欧世界の権威となり、教皇グレゴリウス7世は皇帝や王による聖職者の叙任が腐敗を生むとして叙任権闘争を開始した。カノッサの屈辱などを経て教皇権は皇帝や王に対して優位に立ち、13世紀のインノケンティウス3世のときに絶頂期を迎えた。
- ウ：西ローマ帝国の滅亡後も、東ローマ(ビザンツ)帝国はゲルマン人の大移動の影響をあまり受けず、6世紀のユスティニアヌス帝はゲルマン人諸国家を滅ぼし、一時的に地中海世界を再統一した。『ローマ法大全』の編纂を命じ、首都コンスタンティノーブルに聖ソフィア大聖堂を建立して威信を高めた。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	誤	誤
3.	誤	正	正
4.	誤	正	誤
5.	誤	誤	正

(5) モンゴル帝国および元に関する記述のうち、妥当でないものは次のうちどれか。

1. モンゴル帝国は、モンゴル全部族を統一したチンギス=ハンによって創建され、彼の一族は遠征を繰り返し、モンゴル帝国5代皇帝・元の初代皇帝であるクビライの時代には、アジアからヨーロッパにわたる大帝国となった。
2. モンゴル帝国の大統合により、ユーラシア規模での交流が発展した。帝国はジャムチとよばれる駅伝制度を整え、江南から大都にいたる大運河を整備し、海上交通路も掌握した。元は紙幣(交鈔)を発行し、高額取引を支えた。
3. 文化・技術の交流も空前の発展を遂げ、中国にイスラームの天文学や医学がもたらされ、中国の火薬・羅針盤・印刷術などが西アジアやヨーロッパに伝わった。マルコ=ポーロの『世界の記述』はヨーロッパで広く読まれた。
4. 財政再建と富国強兵のために、王安石が青苗法、市易法、募役法などの新法と呼ばれる一連の改革を行った。しかし、政府の強い介入に対する反発も強く、新法推進派と司馬光ら反対派の闘争を招いた。
5. 14世紀半ばには白蓮教徒を中心にした紅巾の乱がおこり、この乱の指導者の一人であった朱元璋が南京を都として明を建てた。元は明軍に大都を奪われ、モンゴル高原に退いた。

第2問題 14～18世紀の世界について、(6)～(10)の問いに答えなさい。

(6) ルネサンス期の人物とその代表的な作品の組合せとして、妥当なものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：ダンテ	—	『デカメロン』
イ：マキャヴェリ	—	『君主論』
ウ：ラファエロ	—	「最後の晩餐」
エ：エラスムス	—	『愚神礼賛』
オ：コペルニクス	—	地球球体説に基づく世界地図

1. ア・イ・エ
2. ア・イ・オ
3. イ・エ
4. ウ・エ・オ
5. ウ・オ

(7) 宗教改革に関する記述のうち、妥当でないものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：宗教改革は、神学者マルティン・ルターが「九十五か条の論題」を発表してローマ教会が販売する贖宥状を批判したことから始まったとされる。

イ：スイスで宗教改革を行ったカルヴァンは、『新約聖書』のドイツ語訳を行い、印刷術を利用して著作を出版し、民衆が直接聖書の教えに接する道を開いた。

ウ：カルヴァンは、人が救われるか否かはあらかじめ神によって決められている（予定説）が、神から与えられた使命である職業に励むことで救いを確信できるとし、勤労による富を神聖なものと肯定して、商工業者に広く受け入れられた。

エ：農民戦争の結果アウクスブルクの宗教和議が成立し、各人にカトリックとプロテスタントのどちらを信仰するかを選ぶ権利が与えられ、個人の信仰の自由が認められた。

オ：カトリック教会の中でも自己改革の運動(対抗宗教改革)がおこり、イグナティウス・ロヨラらが設立したイエズス会は、厳格な規律のもとに海外でも布教活動を行った。来日したフランシスコ・ザビエルもその一員であった。

1. ア・イ・エ
2. ア・イ・オ
3. イ・エ
4. ウ・エ・オ
5. ウ・オ

(8) ヨーロッパ各国の絶対王政に関する記述の組合せとして、妥当でないものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：スペイン：フェリペ2世	—	プレヴェザの海戦でオスマン帝国に勝利
イ：イギリス：エリザベス1世	—	スペイン無敵艦隊を撃退
ウ：フランス：ルイ14世	—	ヴェルサイユ宮殿の造営
エ：プロイセン：フリードリヒ2世	—	サンスーシ宮殿の造営
オ：ロシア：エカチェリーナ2世	—	ポーランド分割を強行

1. ア
2. ア・オ
3. イ・ウ
4. ウ・オ
5. エ

(9) 産業革命期の技術革新に関する記述の組合せとして、妥当でないものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：ジョン＝ケイ	—	力織機の発明
イ：ハーグリーブズ	—	ジェニー紡績機の発明
ウ：ワット	—	蒸気機関の改良
エ：アークライト	—	水力紡績機を発明
オ：スティーヴンソン	—	蒸気船の実用化

1. ア・ウ
2. ア・オ
3. イ・エ
4. イ・オ
5. ウ・エ

(10) アメリカ独立戦争に関わる次の出来事を年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：ボストン茶会事件

イ：アメリカ独立戦争の勃発

ウ：アメリカ合衆国憲法採択

エ：印紙法の成立

オ：独立宣言の発表

1. ア → エ → イ → ウ → オ

2. ア → オ → エ → イ → ウ

3. エ → ア → イ → オ → ウ

4. エ → ア → オ → イ → ウ

5. エ → イ → ア → ウ → オ

第3問題 19世紀以降の世界について、(11)～(15)の問いに答えなさい。

(11) 帝国主義時代のヨーロッパ列強によるアフリカ分割に関する以下の記述の、空欄A～Dに当てはまる語句の組合せとして、妥当なものは次のうちどれか。

アフリカ分割が1880年代に激化する契機となったのは、先に占領した国が領有できるという「先占権」を確認した 会議であった。

縦断政策をとるイギリスは、エジプトとケープ植民地を結ぶ領域の確保を目指した。ケープ植民地首相の らの扇動を受けて南アフリカ戦争をおこし、ブール人のトランスヴァール共和国とオレンジ自由国をケープ植民地に併合した。

横断政策をとるフランスは、西アフリカ一帯を占領した後、スーダンで英国軍と遭遇し一触即発の状態となった。この 事件でフランスの譲歩により英仏協商が結ばれ、イギリスがスーダン、フランスがモロッコを確保した。

カメルーンなどを占有したドイツは、フランスのモロッコ支配に異を唱え2度にわたる 事件を起こしたが、イギリスによって阻まれた。

- | A | B | C | D |
|-----------|---------|-------|-------|
| 1. ベルリン | ディズレーリ | ファショダ | モロッコ |
| 2. ベルリン | セシル＝ローズ | ファショダ | モロッコ |
| 3. ベルリン | セシル＝ローズ | ハルツーム | ファショダ |
| 4. アルヘシラス | セシル＝ローズ | ハルツーム | モロッコ |
| 5. アルヘシラス | ディズレーリ | ハルツーム | ファショダ |

(12) 世界恐慌の際の各国の状況に関する記述のうち、妥当なものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：アメリカ合衆国では、フランクリン＝ローズヴェルト大統領が、テネシー川流域開発公社（TVA）などの大公共事業、農業調整法、全国産業復興法、ワグナー法などを内容とするニューディール政策を実施した。

イ：イギリスでは、マクドナルドが挙国一致内閣を組織し、緊縮財政と金本位制停止を実施した。しかし経済は回復せず、オタワでイギリス連邦経済会議を開き、スターリング（ポンド）＝ブロックを形成して、貿易の回復を図った。

ウ：ドイツでは、アメリカ資本の撤退により失業率が3割を超える状況下で、ヒトラーの率いるナチスがミュンヘン一揆に成功し、独裁体制を敷いた。国家予算を軍需生産に集中して戦争準備を行い、反対派やユダヤ人らを強制収容所に送った。

エ：ソ連では、社会主義経済建設をめざす第1次五か年計画の開始直後に世界恐慌の影響が波及し、深刻な不況となった。第2次五か年計画が終わる1937年には工業生産額が世界恐慌発生時の2分の1にまで低下した。

1. ア
2. ア・イ
3. ア・イ・エ
4. イ・ウ・エ
5. ウ・エ

(13) 第二次世界大戦期のヨーロッパの出来事に関する次の表中の空欄A～Eに当てはまる記述を下の語群から選んだ組合せとして、妥当なものは次のうちどれか。

1938年	<input type="text" value="A"/>	ミュンヘン会談
1939年		独ソ不可侵条約
	<input type="text" value="B"/>	イギリス・フランスが対独宣戦
1940年	<input type="text" value="C"/>	日独伊三国同盟
1941年		独ソ戦開始
	<input type="text" value="D"/>	
1943年		ドイツがスターリングラードで大敗 イタリア降伏
1944年		連合軍、ノルマンディー上陸 連合軍パリ解放
1945年	<input type="text" value="E"/>	ベルリン陥落、ドイツ降伏

《語群》

- ア：ドイツがポーランドに侵攻
- イ：ドイツがオーストリアを併合
- ウ：独軍がパリを占領、フランス降伏
- エ：大西洋憲章の発表
- オ：ヤルタ会談
- カ：テヘラン会談
- キ：ポツダム会談

- | | A | B | C | D | E |
|----|---|---|---|---|---|
| 1. | ア | イ | ウ | エ | オ |
| 2. | ア | イ | カ | オ | キ |
| 3. | イ | ア | ウ | エ | オ |
| 4. | イ | ア | ウ | オ | キ |
| 5. | イ | カ | ア | エ | オ |

(14) 冷戦期の次の出来事を年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：朝鮮戦争

イ：トルーマン・ドクトリン

ウ：マルタ会談

エ：アジア＝アフリカ会議（バンドン会議）

オ：ゴルバチョフ書記長就任

1. ア → イ → エ → ウ → オ
2. ア → エ → イ → オ → ウ
3. イ → ア → エ → オ → ウ
4. イ → ア → オ → ウ → エ
5. イ → ウ → ア → オ → エ

(15) 次のア～ウの戦後のアメリカ合衆国大統領と、a～eの政策や在任中の出来事の組合せとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：ケネディ大統領

イ：ニクソン大統領

ウ：ブッシュ（父）大統領

- a：米ドルと金の交換停止を発表、ベトナム和平協定調印
- b：新自由主義と「小さな政府」論。市場原理重視の経済政策。
- c：キューバ危機、黒人解放を求めるワシントン大行進
- d：対米同時多発テロ、アフガニスタン攻撃、イラク戦争
- e：マルタ会談、湾岸戦争

- | | ア | イ | ウ |
|----|---|---|---|
| 1. | a | b | d |
| 2. | a | c | e |
| 3. | c | a | d |
| 4. | c | a | e |
| 5. | c | b | e |

第1問題 次の年表について、(1)～(5)の問いに答えよ。

1568年	信長、足利義昭を奉じて入京
1573年	室町幕府滅亡
1575年	<input type="text" value="A"/>
1582年	本能寺の変
1587年	B聚楽第の完成
1590年	C秀吉、全国統一を完成
1600年	関ヶ原の戦い
1603年	家康、D江戸幕府を開く
1641年	Eオランダ商館を出島に移す

(1) 空欄Aは、信長・家康の連合軍が大量の鉄砲を用いた足軽鉄砲隊の一斉射撃で武田の騎馬隊を大敗させた戦いとして有名である。その戦いの名称として、妥当なものは次のうちどれか。

1. 桶狭間の戦い
2. 姉川の戦い
3. 石山合戦
4. 三方ヶ原の戦い
5. 長篠の戦い

(2) 信長と秀吉に仕え、雄大な作風で、下線部Bや安土城、大坂城の障壁画を描いた桃山文化を代表する画家として、妥当なものは次のうちどれか。

1. 長谷川等伯
2. 俵屋宗達
3. 狩野永徳
4. 尾形光琳
5. 雪舟

(3) 下線部Cの人物が行った政策や戦争に該当しないものは、次のうちどれか。

1. 太閤検地
2. 刀狩令
3. バテレン追放令
4. 文永・弘安の役
5. 天正大判の鑄造

(4) 下線部Dの時代に行われた支配政策・統制政策として、妥当なものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：武家諸法度を制定し、城の新築や無断修理を禁じ、大名間の婚姻は許可制とした。また、大名には国元と江戸を一年交代で往復する参勤交代を義務付け、大名の妻子には江戸の屋敷に住むことを強制した。

イ：将軍を補佐する管領には斯波・細川・畠山の3家を任命し、侍所長官には山名・一色・赤松・京極の4家を任命し、幕府の財政や裁判などは、幕府政所の奉行人などに担当させた。

ウ：禁中並公家諸法度を定め、公家の席次や昇進に規制を加え、天皇に残された権限である年号や暦の制定と形式的な官位の授与にも幕府の承認を必要とした。京都所司代を置いて朝廷を監視し、武家伝奏に任命された公家を通じて朝廷を統制した。

1. ア
2. ア・イ
3. ア・イ・ウ
4. ア・ウ
5. イ・ウ

(5) 次のア～オは、年表中D～E間の対外関係の出来事について記述したものである。年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：オランダに貿易を許可し、平戸に商館が設置される。

イ：糸割符制度を創設する。

ウ：ポルトガル船の来航が禁止される。

エ：島原の乱がおきる。

オ：全国に禁教令が出る。

1. ア → イ → エ → ウ → オ

2. ア → イ → エ → オ → ウ

3. イ → ア → エ → ウ → オ

4. イ → ア → オ → ウ → エ

5. イ → ア → オ → エ → ウ

第2問題 次の年表について、(6)～(10)の問いに答えなさい。

1853年	ペリーが浦賀に来航 (A)
1868年	五箇条の誓文 (B)
1871年	廃藩置県 (C)
	岩倉使節団の派遣 (D)
1873年	徴兵令 (E)
	地租改正 (F)
1874年	民撰議院設立建白書の提出 (G)
1889年	大日本帝国憲法の発布 (H)
1912年	明治天皇没 (I)

(6) 次のア～オは、年表中A～B間の出来事について記述したものである。年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：長州藩の外国船砲撃・薩英戦争

イ：日米修好通商条約調印

ウ：大政奉還

エ：薩長連合

オ：安政の大獄

1. ア → イ → ウ → オ → エ
2. ア → ウ → オ → イ → エ
3. イ → ア → エ → ウ → オ
4. イ → オ → ア → エ → ウ
5. イ → オ → エ → ア → ウ

(7) 年表中C・E・Fに関する記述として、妥当なものは次のうちどれか。

C：新政府は廃藩置県を断行し、全国の藩を廃して、旧藩兵の解散と武器・城郭の接收を命じ、新たに府と県を置いた。しかし、府知事や県令には旧藩主が任命されたため、中央集権化は不徹底に終わった。

E：新政府は近代的な軍隊をつくるために徴兵令を公布し、満20歳に達した男子を3年間の兵役に服させることにした。しかし、多くの兵役免除規定のために、実際に兵役に服した者の多くは農民の次三男であり、各地で徴兵反対の農民一揆がおきた。

F：新政府は安定した財源を確保するため地租改正を実施した。課税対象を収穫高から地価に変更し、物納を金納に改めて税率は地価の3%とし、納税者を実際の耕作者として、近代的な租税制度を確立した。

1. C・E
2. C・F
3. E
4. E・F
5. F

(8) 年表中のDに関する記述として、妥当なものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

A：岩倉具視大使、大久保利通・木戸孝允・伊藤博文・山口尚芳の各副使以下約100名に及ぶ大規模な使節団が、2年近くにわたって欧米12か国を歴訪した。

I：目的である条約改正予備交渉で関税引き下げに成功し、また、欧米近代国家の政治・産業の発展状況を視察し、帰国後の欧化政策・近代化政策の糧とした。

U：使節団に随行した約60名の留学生の中には5名の女性も含まれ、津田梅子は、女子高等教育の発展に貢献し、女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設した。

E：帰国後、大久保利通らと、征韓論を唱える留守政府が対立し、征韓論を否決された西郷隆盛・板垣退助ら征韓派参議が一斉に下野する明治六年の政変がおこった。

1. A・I
2. A・U・E
3. A・E
4. I・U
5. I・U・E

(9) 次のア～オは、年表中G～H間の出来事について記述したものである。年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：明治十四年の政変、自由党の結成

イ：内閣制度の発足

ウ：西南戦争勃発

エ：国会期成同盟の結成

オ：秩父事件

1. ア → ウ → イ → オ → エ
2. ア → オ → イ → ウ → エ
3. ウ → ア → イ → オ → エ
4. ウ → エ → ア → オ → イ
5. ウ → エ → オ → ア → イ

(10) 年表中G～I間に行われた条約改正交渉について、交渉担当者と交渉の経過や結果の組合せとして、妥当なものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：井上馨 — 領事裁判権撤廃を中心に交渉を進めたが、外国人裁判官の任用問題と欧化政策で批判を浴び、大同団結運動でも攻撃され、外相を辞任した。

イ：小村寿太郎 — 領事裁判権撤廃を条約改正に好意的な国から個別に交渉を始めたが、大審院に限り外国人裁判官を任用する案が批判を浴び、対外硬派団体の一青年に襲撃され重傷を負い、交渉は中断した。

ウ：陸奥宗光 — 日清戦争直前に、ロシアの極東進出を警戒するイギリスとの間で、領事裁判権の撤廃などを内容とする日英通商航海条約の調印に成功した。

エ：大隈重信 — 日清・日露戦争の勝利などの日本の国際的地位の向上を背景に、関税自主権の完全回復を実現した。

1. ア・イ・エ
2. ア・ウ
3. ア・ウ・エ
4. イ・ウ
5. イ・エ

第3問題 次の年表について、(11)～(15)の問いに答えなさい。

1931年	満州事変(A)
1935年	天皇機関説事件(B)
1937年	盧溝橋事件⇒日中全面戦争の開始(C)
1940年	北部仏印へ進駐(D)
1941年	真珠湾攻撃⇒アジア太平洋戦争の開始
1945年4月	米軍の沖縄本島上陸(E)
1945年9月	降伏文書に署名(F)

(11) 次のア～エは、年表中A～C間の出来事について記述したものである。年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

- ア：五・一五事件
- イ：二・二六事件
- ウ：国際連盟を脱退
- エ：満洲国を建国

1. ア → イ → ウ → エ
2. ア → エ → イ → ウ
3. エ → ア → イ → ウ
4. エ → ア → ウ → イ
5. エ → ウ → イ → ア

(12) 年表中Bは、天皇は国家の最高機関として憲法に従って統治権を行使すると説明して憲法学の定説となっていた学説が、反国体的と非難されて政治問題化した事件である。これによって、貴族院議員の辞任を余儀なくされた人物名として、妥当なものは次のうちどれか。

1. 滝川幸辰
2. 吉野作造
3. 穂積八束
4. 美濃部達吉
5. 津田左右吉

(13) 年表中C～D間の出来事に関する記述のうち、妥当でないものは次のうちどれか。

1. 日中戦争勃発直後に第2次国共合作が成り、中国国民党と中国共産党が内戦を停止して結成した抗日民族統一戦線が頑強な抵抗を続けた。
2. 日本軍は国民政府の首都南京を占領し、その前後で多数の民間人や捕虜を殺害し、諸外国から非難を浴びた。国民政府は奥地の重慶に退き、英・米・ソの援助を受けて交戦したため、戦いは日本の想定した短期決戦とはならず、泥沼の長期戦となった。
3. 1938年には国家総動員法が公布され、政府は議会の承認なしに、勅令によって戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限を得た。これに基づいて、国民を軍需工場に動員するための国民徴用令などの勅令が次々と発せられた。
4. ソ連とは、満洲国境をめぐる紛争が絶えず、ノモンハン事件では、ソ連の大戦車軍団に大打撃を受け、日本軍の装備の近代化の遅れが明らかとなった。しかし、戦闘中に日ソ中立条約が締結されたため、両軍は戦闘を停止し、日本軍は北方の安全を確保して、南進策に集中することとなった。
5. 教育面では、小学校が国民学校に改められ、「忠君愛国」の国家主義的教育が推進された。植民地であった朝鮮・台湾でも、日本語教育の徹底などの「皇民化」政策がとられ、朝鮮では創氏改名や神社参拝などが強制され、陸軍志願兵制度がしかれた。

(14) 年表中のD～E間の出来事に関する記述として、妥当なものをすべて選んでいるものは次のうちどれか。

ア：日中戦争の泥沼化に焦った日本は、欧州でのドイツ有利の戦況をみて、援蒋ルート of 遮断と資源確保のための南進を断行し、1940年に北部仏印に進駐し、日独伊三国同盟に調印した。国内では「新体制運動」が展開され、政党は解党して大政翼賛会が発足した。

イ：1941年に南部仏印に進駐すると、アメリカは日本への石油輸出を禁止し、イギリス・オランダも同調した。東条内閣は開戦の準備を整えながら対米交渉を続けたが、アメリカに強硬な提案を示されると開戦を決定し、真珠湾を奇襲攻撃してアジア太平洋戦争に突入した。

ウ：日本は緒戦に勝利をおさめ、開戦から半年で、東南アジアと南太平洋一円の広大な地域を占領し、国民は勝利に沸いた。しかし、半年後のサイパン島陥落で制海権と制空権を米軍に奪われると戦局が転換して全線戦で敗退が続き、硫黄島全滅でB29の本土空襲が可能となって東京も焦土と化し、沖縄戦での死者は軍民あわせて18万人余りにのぼった。

エ：日本は戦争の目的に、「大東亜共栄圏」の建設によってアジアを欧米の植民地から解放し共に栄えることを掲げた。しかし実際は、物資を収奪して戦争を遂行し、鉄道建設・土木作業・鉱山労働への強制動員を行い、朝鮮や台湾では徴兵制こそしかれなかったものの日本本土への強制連行や強制労働が行われたため、各地で抗日運動がおこった。

1. ア・イ
2. ア・ウ
3. ア・エ
4. イ・ウ
5. イ・エ

(15) 次のア～オは、年表中E～F間の出来事について記述したものである。年代の早い順に並べたものとして、妥当なものは次のうちどれか。

ア：アメリカが広島に原子爆弾を投下

イ：アメリカが長崎に原子爆弾を投下

ウ：ポツダム宣言の発表

エ：ポツダム宣言の受諾

オ：ソ連の対日参戦

1. ア → イ → ウ → エ → オ
2. ア → ウ → イ → エ → オ
3. ウ → ア → イ → オ → エ
4. ウ → ア → オ → イ → エ
5. ウ → オ → ア → イ → エ